

2020年度 日本工学院八王子専門学校

柔道整復科

ケガの手当 1

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	本澤 光則			実務経験	有	職種	柔道整復師				

授業概要

軽症の応急手当についての知識を学びます。

到達目標

解剖学の知識を持って外傷の発生から治癒に向かう過程のメカニズムをしっかりと把握することを到達目標とする。また、この授業を元に自学自習の精神や姿勢を身につける事も目標とする。

授業方法

解剖学を主として、骨の名称や関節、筋肉の起始・停止などを理解し、患者さんへ説明に用いることができる学問である。骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷等と解剖学の結びつきを理解し、発生機序から後療法までの基礎知識を習得する。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や医療現場にふさわしくない受講態度、振る舞いなどには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時間数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受講することができない。

教科書教材

教科書（柔道整復理論編 一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	業務範囲の確認と骨折と脱臼について理解する。
第2回	骨折脱臼などの成り立ちを理解する①
第3回	骨折脱臼などの成り立ちを理解する②

ケガの手当 1

第 4 回	骨折脱臼などの成り立ちを理解する③
第 5 回	整復の意思を知る
第 6 回	整復の基礎を理解する①
第 7 回	整復の基礎を理解する②
第 8 回	固定の意義を知る。
第 9 回	固定の基礎を理解する①
第 10 回	固定の基礎を理解する②
第 11 回	後療法の意義を知る。
第 12 回	後療法の基礎を理解する①
第 13 回	後療法の基礎を理解する②
第 14 回	症例を基礎医学的に考える①
第 15 回	症例を基礎医学的に考える②